

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	浅野 善史
	全体計画			経費区分	-	内線	3523
事務事業名	13618 空家対策事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	16033400 安心して快適な住環境の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費					
	事業	040000 空家対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
空家等に関する対策実施のための協議会の開催。				空家等対策の推進に関する特別措置法の規定により、空家等に関する対策の実施のための協議会を設置し、空家等対策計画を策定し、計画に沿った空家対策を実施する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
1回の会議を開催 空家対策計画に基づく空家対策の実施 ①特定空家等の認定8件 ②行政代執行の実施1件 ③相続財産管理人選定の申立て1件	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		789	3,283
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		789	3,283
人員数(人)	正規職員	0.7	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,877.6	6,271.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,877.6	6,271.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		5,666.6	9,554.2

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	170	空家応急修繕工事170
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	619	空家等対策協議会委員報酬13、郵便料2、手数料604

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	2,000	空家応急修繕工事2,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,283	空家等対策協議会委員報酬65、普通旅費4、郵便料3、手数料1,211

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	所有者や管理者がいない土地、建物を有効活用するために、空家対策を進める必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	十分な管理が行われていない空家については特定空家に認定をし、法に基づく措置を実施することで課題の解決につながっていく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	行政代執行の実施等に費用が必要となる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

特定空家の認定や行政代執行の実施等、危険な空家に対する措置が進んでいる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

空家の所有者へのお願いだけでは、なかなか対応をいただけない状況である。空家等対策協議会との連携を図り、空家特措法に基づく対応を進める必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

管理されていない空家に対する苦情等が増えており、空家特措法に基づく対応を進める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--